

2015年 トップに聞く

ACKグループ

野崎 秀則社長



14年を振り返って業績は順調だが、昨年9月に中期経営計画ACKG2013で掲げた2020年のビジョン・目標をより確実に達成するため、ACKG2013の強化策を策定

した。また、オリエンタルコンサルタントの海外部門を、オリエンタルコンサルティンググローバルとして分社化し、海外市場での競争力を強化した。

再生可能エネルギー・スマートコミュニティ、交通(高度化・総合化)、海外新規開拓(民間開発、事業経営、地域活性化)によって、ナンバーワン・サービスを提供してい

再整備とグローバル人材を確保・育成する。「3軸市場の競争力強化」では、グループの力を結集し、ワンストップで技術・サービスを提供してい

15年の事業展開インフラの老朽化、防災・減災、人口減少社会に対して、インフラ保命、防災、地域活性化などの重点化事業やそれぞれの

対応する。ACKグループは、今期創業10周年を迎えることから、CSV(Creating Share value)の考え方に基づき、「CSR版重

取り組みを継続する。人材確保・育成は経営の最重要課題であり、多様な人材が働きやすく、活躍できる職場環境づくりに取り組む。既に、グ

ループ横断で利用できる各種研修制度、資格取得支援制度などを整備したが、更にグループ企業の優良施策を積極的に水平展開し、グループ企業全体の活力を醸成してい

経営方針 ACKG2013の強化策として打ち出した「個の強化」「連携の強化」「3軸市場の競争力強化」で成果を挙げる。「個の強化」では、8つの重点化事業(インフラ保全・運営管理、防災、

・オンリーワンとなる技術・サービスを開発し、事業拡大を図る。「連携の強化」では、グループ内外の連携を強化すると共に、グローバル展開のため、現地に根ざした基

20億以上を目指す。これらの取り組みに、3年間で30億円を投資して確実に成果を挙げ、2020年には、売上高500億以上、営業利益

重点化事業を複合して提供する総合事業の推進に よって社会的課題を解決していく。海外は、東南アジア・アフリカ地域を中心とした鉄道交通・道路分野の需要に積極的に

重畳化事業を複合して提供する総合事業の推進に よって社会的課題を解決していく。海外は、東南アジア・アフリカ地域を中心とした鉄道交通・道路分野の需要に積極的に

き続き様々な品質確保の取り組みを継続する。人材確保・育成は経営の最重要課題であり、多様な人材が働きやすく、活躍できる職場環境づくりに取り組む。既に、グ

ループ横断で利用できる各種研修制度、資格取得支援制度などを整備したが、更にグループ企業の優良施策を積極的に水平展開し、グループ企業全体の活力を醸成してい

事業活動を通じて社会貢献